

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **森林キャンプ場管理運営事業**

[0512]

部名	教育部	事業開始年度	平成 - 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	平成 - 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 森林キャンプ場
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	5,722	5,753	5,753	5,753
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	6,744	8,237	7,503	10,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	5,722	5,753	5,737	5,753
正職員人件費 (B)		千円	830	806	803	809
総事業費 (A) + (B)		千円	6,552	6,559	6,540	6,562

費用内訳	
23年度	需用費 1千円、役務費 3千円、委託料 5,733千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成 16年 10月から使用料を徴収している。 平成 18年度から利用料金制に切替えた。
--------	--	-------------	---

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
根拠は？

江別市のシンボルの一つである野幌原始林を活用し、市民のレクリエーションの場として施設を提供することは、心身の健康の維持・増進につながることから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
根拠は？

江別市が設置する唯一のキャンプ場であり、休前日、夏休み期間には市内はもとより他市町村や道外からも利用者が訪れる。野幌原始林に隣接し、自然を通じて親子や仲間のふれあいなど日常では経験できないことが体験ができる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
根拠は？

都市近郊という立地条件から、利用者数が安定している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
根拠は？

野幌原始林に隣接していることや都市近郊であることを施設の特徴として、キャンプ場ガイド等に掲載し、PRをすることによって、利用数の増が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
根拠は？

平成 18年度より指定管理者制度を導入した。